

六月十六日（日）、安曇川公民館において、総会並びに研修会（講話）を、百二十六名（内委任状百九名）の参加を得て開催しました。（事務局）

令和元年度 総会

田中清行会長の挨拶に続き、ご来賓の高島市長 福井正明様からご祝

辞をいただきました。その後、藤樹賞受賞者の表彰に移り、川越常務理事より藤樹賞授賞の報告がありました。（後段の詳細を参照）

受賞者の上田藤市郎先生と北川暢子先生に、会長から表彰状と記念品を贈呈されました。

引き続き、高橋志郎さんが議長に選出され、議事に入りました。はじめに平成三十年度の事業報告と決算報告並びに監査報告があり、承認されました。

次に、報告事項である令和元年度事業計画及び予算が事務局から報告されました。続いて、理事（三田村弘子氏）欠員による新理事（木村健治氏）役員の改選が承認されました。

令和元年度 高島藤樹会総会

議事終了後の「その他、意見」では「会の財政逼迫の折、通信方法等にも工夫され、節約に努めてほしい」とのご意見が出されました。最後に、徳丸和枝副会長の閉会の挨拶で、総会を閉じました。



今年度の事業実施の方針

◎中江藤樹先生の遺徳に親しむ高島市民をはじめすべての人々に対して、先生の思想の現代的意義研究顕彰及び普及を図るため、当会のビジョン「温かくて深い、近江聖人中江藤樹の『孝』の思想を高島から全滋賀へ、全国へ、全世界へ広める」に沿って、以下の事業を行う。

- ・心のセミナーとして、藤樹人間学塾百回記念も兼ねて、令和元年十二月にまなざし童心塾で（一社）実践人の家理事長の廣瀬童心先生を招いて講演会を実施する。
- ・毎月、藤樹人間学塾を行って、『中庸解』を学び、日々の生活や実践活動に生かすよう図る。
- ・中江藤樹座像の二次的著作物の制作・販売を検討し、会員からの注文に応じて、一定量に達すれば販売する。
- ・学校における道德等の授業に「中江藤樹の話」を活用されるよう、引き続き学校に働きかける。
- ・藤樹紙芝居を活用して、先生の教えが子供たちからお年寄りまで幅広く親しまれるように図る。
- ・当会の趣旨、活動内容が周知されるよう「会報高島藤樹会」の充実を図り、年三回発行する。
- ・ホームページを当会の活動にリンクさせて充実を図る。
- ・当会の趣旨、活動内容を周知するため、高島藤樹会の名刺を制作する。
- ・藤樹先生の教え、生き方を啓発されている方の表彰を行う。
- ・三月七日の立志祭の日に理事が学校訪問して、小学三年生に「五事を正す」のクリアファイルを贈呈する。
- ・各地で、「中江藤樹の話」の要望

藤樹賞受賞者の報告

表彰委員会 川越 清司

藤樹賞授賞にあたり、藤樹賞の理念を「藤樹先生の生き方や考え方に共感し、それを広めようという志を持って活動されている団体や個人の方を表彰する」と決めました。

本年度の総会において上田藤市郎先生、北川暢子先生に授与させていただきました。

上田先生の受賞理由は、高島藤樹会生みの親であり、物心両面にわた

